

4/3 千葉市 本町公園

千葉県労連青年協 800名で総決起集会

三里塚・ジェット闘争貫徹ノ「国鉄35万人体制」粉碎ノ

さあ春闘だ!

公労協の青年婦人を代表して 千葉田中青年部長が決意表明

4月3日、本町公園において、千葉県労連青年協婦人協主催による82春闘総決起集会が開催された。集会には、県下各単産の青年婦人1800名が結集し、いよいよ本番を迎えた82春闘勝利にむけて全力をあげて闘いぬくことを決意し、中央公園までの市内デモを貫徹した。

低賃金・行革・合理化攻撃粉碎、春闘破壊攻撃うち破れ

支配階級は、右翼労働「統一」と「行革」攻撃をもって春闘のものを破壊に全力を傾けている。

日経連は、「生産性基準原理」賃金 4.1%おさえこみ」を路線とし、労働運動の裏切り者どもは「9%要求」をもってこれに屈服している。

「準備会春闘」と呼ばれる今春闘は、総評から春闘の主導権を奪つたことをおいて、総評労働運動の最後の解体を策すものであり、国鉄労働運動への全面攻撃、国鉄労働者への「ヤマ・カラ」国賊キャンペーンは、戦後労働運動の背骨を叩き折ろうとするものである。

支配階級は、軍事大団化、改憲攻撃の一環として、階級的労働運動を根底から解体し、産業報国会化への道を一挙に進めようとしているのである。

支配階級は、右翼労働「統一」と「行革」攻撃をもって春闘のものを破壊に全力を傾けている。

日経連は、「生産性基準原理」賃金 4.1%おさえこみ」を路線とし、労働運動の裏切り者どもは「9%要求」をもってこれに屈服している。

「準備会春闘」と呼ばれる今春闘は、総評から春闘の主導権を奪つたことをおいて、総評労働運動の最後の解体を策すものであり、国鉄労働運動への全面攻撃、国鉄労働者への「ヤマ・カラ」国賊キャンペーンは、戦後労働運動の背骨を叩き折ろうとするものである。

支配階級は、軍事大団化、改憲攻撃の一環として、階級的労働運動を根底から解体し、産業報国会化への道を一挙に進めようとしているのである。

二年連続の実質賃金低下という状況のなかで労働者の生活と怒りは耐えがたいものとなっている。そして怒りの爆発はすでにはじまっている。反戦・反核闘争がかつてなく高揚し、328三里塚への国鉄をはじめとした労働者部隊二、六〇〇名という倍躍的な結集が実現されている。そして、総評民間30単産の「統一準備会」へのなだれこみに対しても、多くの生産現場で反撃が開始されている。今春闘を通じて労働運動の新たな流動化・活性化・戦術的高揚は不可避である。

こうした状況のなかで、今日、労働者マル反動分子がゾリ押ししはじめた「付け運動」既得権全面返上、スト絶滅宣言が、いかに犯罪的な、反労働的な路線であるかは、あまりにも明らかである。

全労働者の敵「産報化運動の尖兵」労働者マル反動分子を粉碎・一掃し、三里塚・反合春闘の路線を、県下の闘う青年労働者の中に大胆に押し広げ、「ストなし春闘」をうち破つて、4月13日からの交通スト貫徹にむけて、全力で決起しよう。

青年婦人こそ闘いの先頭にたとう! — 基調報告 —

集会は、主催者を代表して井橋県青年協議長(国労)のあいさつ、県春闘女闘、井原議長のあいさつの後、「私たちは、資本の攻撃の厳しさだけにこらわれず、増大している仲間の不満や怒りを組織し、職場・地域からストライキ体制を確立しよう。青年婦人が闘いの先頭に立ち、総力を結集して闘いぬこう」との基調報告が提起され、満場の拍手で確認された。

「付け運動」の労働者マル弾劾

三里塚・反合を闘う労働運動を構築しよう — 田中青年部長が決意表明 —

その後、民間、婦人、公務員、公労協



をこれぞ代表しての決意表明がなされた。とりわけ、公労協を代表して勤労千葉田中青年部長が決意表明した、「春闘解体労働運動の産報化の攻撃をうち破り労働運動の戦術的再生をかちことう。」「行革」攻撃、とりわけ国鉄労働者「国賊キャンペーン」は、労働運動を根柢にして、戦時国家体制をつくらうという反動攻撃であり、これと真正面に対決し、帝国主義をうち倒す労働運動の路線を創り上げよう。これに全面屈服して、「付け運動」スト返上、「ウツパン」はさせない」と労働者を強制してまわっている労働者マルは労働者の敵であり、断じて許してはならない。帝国主義の心臓をひちめ、三里塚闘争と固く結合して、82春闘をストライキで闘いぬこう。すでに反戦・反核闘争の高揚、三里塚二期決戦が開始されている。青年労働者は、その最先頭に立ちとう」と提起し、全体の拍手で確認した。集会後、市内目抜き通りをデモ行進し春闘総決起を誓った。

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ!